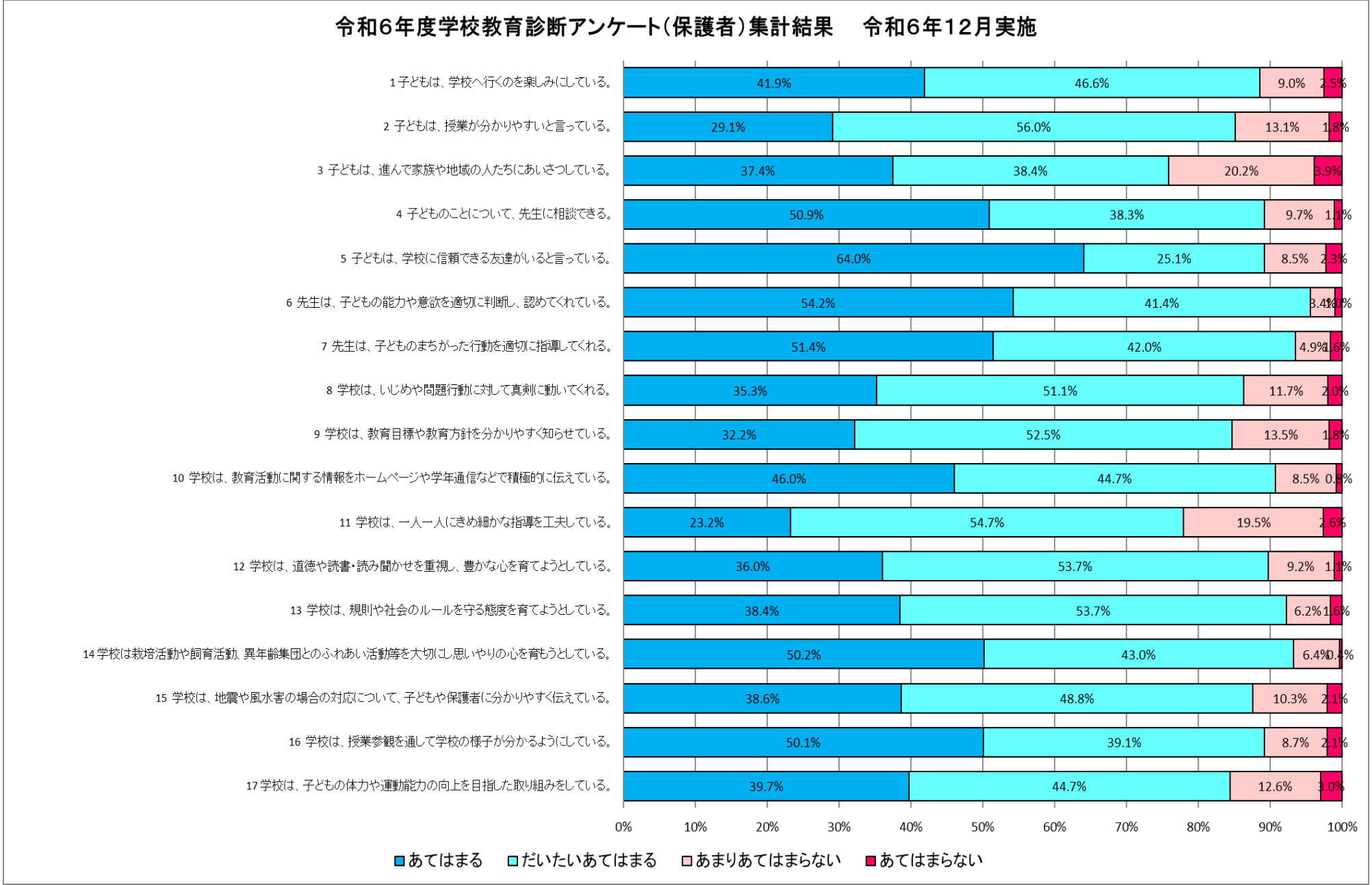


# 令和6年度幸田小学校学校教育診断アンケートの集計結果について

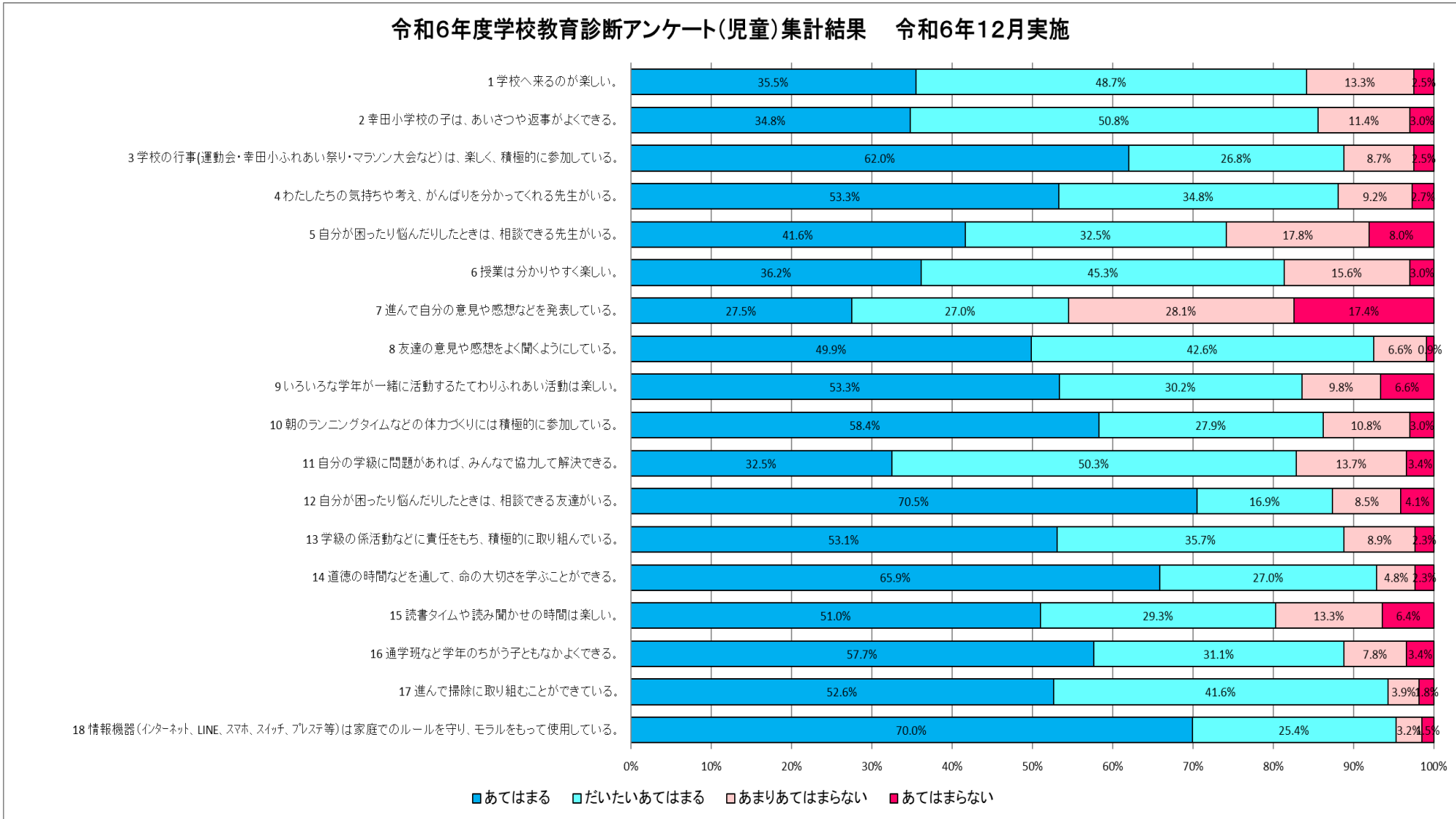
令和7年2月25日

12月にお願いをして実施いたしました幸田小学校「学校教育診断アンケート」の集計結果を、下記の通りお知らせいたします。ご多用のなか、ご協力いただき、ありがとうございました。この結果をもとに、より充実した教育活動が展開できるよう改善できるところから取り組んでまいりますので、今後ともご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

## 1 集計結果一覧グラフ（保護者）



## 2 集計結果一覧グラフ（4～6年児童）



3 調査結果から見た傾向や特徴 ※（ ）内の数値は、昨年度との比較

楽しい学校生活

「1 学校へ来るのが楽しい」と答えた児童は84.2%（－1.3%）で微減、  
「1 子どもは、学校へ行くのを楽しみにしている」と答えた保護者は88.5%  
（＋2.2%）でした。「安心・安全な」「愛される」「信頼される」学校づくりに  
努力してきた結果、児童・保護者から、このような評価を得られたことを大変うれ  
しく思います。一方で、「あまりあてはまらない」と答えた児童・保護者も10%  
程度います。子ども・家庭・地域・教職員のつながりと絆を深める「幸田小ビッグ  
ファミリー」の実現を目指し、さらに教職員間の連携を強化し、目の行き届く教  
育、学校づくりに努めていきたいと思っています。

学ぶ意欲を高める授業

「2 子どもは、授業が分かりやすく楽しいと言っている」と回答している保護  
者は85.1%（＋1.3%）で昨年度よりも増加しました。「6 授業が分かり  
やすく楽しい」と回答している児童は81.5%（－3.4%）と減少しました。  
「7 進んで自分の意見や感想などを発表している」と回答している児童は54.  
5%（－2.4%）、「8 友達の意見や感想をよく聞くようにしている」と回答し  
ている児童も92.5%（＋2.6%）でした。これらの項目は、昨年度大幅に向  
上した項目で、今年度も概ね昨年度のレベルを維持しています。「主体的・対話的  
で深い学び」の視点に立った授業改善は、生涯にわたって能動的（アクティブ）に  
学び続ける子どもたちの育成に不可欠です。その際、ICT機器の活用は、子ども  
同士をつなぐために有効な方法とされています。子どもたちの思考を視覚的に  
支えることで、個別最適な学びを管理し、子ども自身がどのように学びを進めて  
いくかを決定するとともに、協働的な学びを推進する効果が期待されます。今後  
も、教職員が研鑽を深め、主体的＝個別最適な学び（個に応じた指導）と対話的＝  
協働的な学びをより一層充実させ、「学び合い、高め合う」授業の実現に努めてい  
きたいと思っています。「11 学校は、一人一人に応じたきめ細かな指導を工夫して  
いる」と回答している保護者は77.9%（＋3.2%）と、昨年度に引き続き増  
加し、高い評価を得たことを大変うれしく思います。教職員一人一人が、児童一人  
一人の思いに寄り添い、感じ取り、個に応じた指導を心がけた成果と考えます。  
子ども理解は全ての教育活動の原点です。今後も、ますますの信頼を得られるよ  
うに努めていきたいと思っています。

基本的な生活習慣

「2 幸田小学校の子は、あいさつや返事がよくできる」と回答した児童は85.  
6%（＋5.5%）、また「3 子どもは、進んで家族や地域の人たちにあいさつ  
している」と回答している保護者は75.8%（＋0.3%）と、昨年度に続き増  
加しました。あいさつには、「相手への尊敬や親愛を表す」意味があります。企画  
委員会の活動とも連携し、さらに爽やかなあいさつができる児童を育てていき  
たいと思っています。

一人一人を大切にした教育活動・いじめ等への対応

「12 自分が困ったり悩んだりした時は、相談できる友達がいる」と回答して  
いる児童は87.4%（＋2.3%）、「4 子どものことについて、先生に相談で  
きる」と回答している保護者は89.2%（＋0.4%）、「5 自分が困ったり悩  
んだりしたときは、相談できる先生がいる」と回答している児童は74.1%（＋  
0.9%）と、昨年度に引き続き増加しました。「安心・安全な学校」とりわけ児  
童の心理的安全性の高さが現れた結果ではないかと考えます。今後も、子どもた  
ちの心に寄り添い、児童が悩みや苦しみを一人で抱え込むことなく、気軽に相談  
できる雰囲気・体制作りに努めていきたいと思っています。「6 先生は、子どもの能  
力や意欲を適切に判断し、認めてくれている」と回答した保護者は95.6%（＋  
2.3%）、「4 わたしたちの気持ちや考え、がんばりを分かってくれる先生がい  
る」と回答した児童は88.1%（＋1.4%）と、昨年度に引き続き、保護者、  
児童とも高い数値を示しました。一方で、認められていない、分かってもらえて

いないと感じている児童も少なからずいます。教職員一人一人が、児童のささい  
な変化に気づき、事態を見つめ、児童の内面を見抜く力をさらに高め、児童一人  
一人の心に響く、そして、良いところを認め伸ばす指導を大切にしていきたいと  
思います。「8 学校は、いじめや問題行動に対して真剣に動いてくれる」と回答  
した保護者が86.4%（－2.7%）と、昨年度より若干減少しました。生活ア  
ンケートや個別面談の実施、いじめ・不登校対策委員会や週1回の情報交換会、学  
期に1回の専門機関の職員を交えての事例検討会の実施等、全職員で情報を共有  
し、早期対応を心がけてきました。また、人権教育・道徳教育を通して、多様性を  
認め、温かい人間関係を育む活動も充実させてきました。「いじめは絶対に見逃さ  
ない」という教職員の鋭敏な感覚を高め、「本当にいじめに苦しむ子どもたちはい  
ないか」という視点を持ち、児童のわずかな変化にいち早く気づき、問題を未然  
に防ぐ等、保護者や児童から信頼される学校・学級づくりに努めていきます。

開かれた学校

「9 学校は、教育目標や教育方針をわかりやすく伝えている」と回答した保護  
者は84.7%（＋1.3%）、「16 学校は、授業参観を通して学校の様子が分  
かるようにしている」と回答した保護者は89.2%（－3.7%）でした。ホー  
ムページや学校だより、学年・学級通信により子どもたちの学びと成長の様子を  
お伝えしてきました。今後も分かりやすい発信に努めるとともに、学校行事、授業  
参観等を通じ、子どもたちの学びの足跡を感じていただけるように工夫をしてい  
きたいと思っています。定期的な授業参観（4月・1月）以外に、自主授業参観も年6  
回ほど開催（家庭教育支援講座と同日）しています。こちらにも積極的にご参加  
いただけたらと思います。

心の教育

「12 学校は、道徳や読書・読み聞かせを重視し、豊かな心を育もうとしてい  
る」と回答した保護者は89.7%（＋2.4%）、また「14 道徳の時間など  
を通して、命の大切さを学ぶことができる」と回答している児童の割合は92.  
9%（＋2.3%）、「15 読書タイムや読み聞かせの時間は楽しい」と回答して  
いる児童の割合は80.3%（－3.4%）となっています。豊かな情操を育むこ  
とは、児童の人間力の向上にもつながります。今後も、心の教育の充実にも努めてい  
きたいと思っています。「17 進んで掃除に取り組むことができている」と回答して  
いる児童が94.2%（＋1.5%）、「13 学級の係活動などに責任をもち、積  
極的に取り組んでいる」と回答している児童が88.8%（－1.8%）でした。  
「11 自分の学級に問題があれば、みんなで協力して解決できる」と回答した  
児童は、82.8%（＋6.0%）と、増加しました。児童一人一人が役割をもち、  
責任を果たしていることが結果として出ています。今後も、子どもたちの責任感、  
意欲を大切に育てながら、子どもたちの自治的能力を育てていきたいと思いま  
す。「9 いろいろな学年と一緒に活動するたてわりふれあい活動は楽しい」と答  
えた児童は83.5%（＋0.7%）となっています。「16 通学班などの学年の  
ちがう子どももなかよくできる」と回答した児童は88.8%（＋1.5%）とな  
りました。縦割りふれあい活動を通して異年齢集団との関わりを大事にしてきた成  
果と言えます。保護者・地域の皆様と協力して結成した『スクールガード』の活  
動もあり、通学班でのトラブルは減少していますが、いくつかのトラブルは発生  
しています。安心・安全な登下校のためにも、今後も多くの保護者・地域の方が  
『スクールガード』に参加していただけると幸いです。『スクールガード』は、随  
時募集をしております。いつでも学校（担当：教頭）へお声かけください。

体力づくりへの取組

「17 学校は、子どもの体力や運動能力の向上を目指した取り組みをしてい  
る」と回答した保護者は84.4%（＋0.4%）、また、「10 朝のランニング  
タムなどの体力づくりには積極的に参加している」と回答した児童も86.3%  
（＋3.3%）と、いずれも増加しました。限られた時間と場所ですが、実施方法  
を工夫し、今後も児童の体力向上に努めていきたいと思っています。